

かけだ詩 ①

そだちと臨床研究会

川畑 かわばた
隆 たかし

（挨拶）

かけだし

前期高齢者

二度目の退職

そだちと臨床研究会

掃除とゴミ出し

対人援助マガジン

かけだ詩

二度目の退職：一度目は京都府児童相談所、二度目は京都先端科学大学（旧京都学園大学）。そだちと臨床研究会：子ども家庭相談実務経験者の心理職八名（梁川恵・大島剛・菅野道英・衣斐哲臣・笹川宏樹・宮井研治・伏見真里子・川畑隆）が個々にあるいはチームで、児童福祉や教育分野他の支援者を支援する活動を行っている。活動歴は二十八年ほどになる。

彩(いろどり)

対人援助は

タイ人援助じゃないって

すぐわかるほど

業界の外にも

知られているんだらうか

虐待担当課長は

虐待をしてるんじゃないからねって

一言いっておきたくなる

それは 丸々

冗談ってわけでもないか

対人援助マガジンは

対人援助についての雑誌だって

思うのがふつうだけれど

どこまでがそうで

どこからがそうじゃないんだらう

ミスチルの「彩」は

目の前の茶碗

それを作った人が

いま自分を助けてると

たしか歌ってたと思う

そんな彩をねらおうか

ただの間違いか
そうじゃないか
助けてるか
助けられてるか
お呼びじゃないか
それでも行く…

アナログ戻し

原稿用紙は
分厚く束になったのがいい
万年筆は
太めで黒のを使おうか
こんな下手な字だったっけ
丸めて捨てて
箱への座りのいい文字を
せつせと積み直す

書いては二重線で消し
楔をうっては挿入する
あっちこつちと入れ替えて
これ 推敲と言うんだっけ

楔や推敲
国語辞典をすべる指の
なつかしさ
引出しの奥に虫眼鏡を発見する
真つ黒なシミや虫食いの
路線地図のよう
丸めて捨てて清書かな
いや このままがいい これがいい

アプローチ

テニスを習いたくて
講習会に申し込む
だんだん後悔が加速してくる
前日がマックス
ラケットは握らないことになる
そうなることはわかっているから
入るべき箱は作らない
ジョギングも
それ用のウェアは揃えない
詩を書く

助詞を主語から切り離したくなる
文頭の助詞の居心地を尋ねる
次第に馴染んでもきたようだ

詩を進める
この主語にはこの述語
文法を敬うと お前は余分だと言いたくなる
アンバランスのバランスも捨てがたい

形から入る
それもまたいい
：って
これもどこかで聞いた
台詞の形

飾り

不名誉教授だったら貰ってやるけどなあ
そう意気がついていた
名誉教授なんて名誉な人じゃないと
貰えないもんだと思ひ込んでいた
学部長が言った
あなたでも貰えます

いきなりソレが目の前にあらわれた
私は要りません 年寄りの代名詞は
口を突いて出た そう予定していたから
何かいいことありますか 金一封とか
べつにそれで給料をいただけたりは：
そうですね しませんよね
不名誉教授だったら欲しいかも：
やっぱりこぼれ出た

学部長が怪訝な面持ちで部屋を出たあと
不首尾はなかったよなと反芻した
それでいいと思った
でも そのあと
アレがあつたら いま使えたのに：
捨てた電気製品がちらつuit

妻に確認した
アンタの好きなようにしたら：
ウン やっぱり要らない それでいいよな
アンタがよかつたらそれで：

妻が娘たちに尋ねたらしい
くれると言うんだから貰つとけばいいのに
子どもっぽいな
要らないのなら使わなかつたらいいだけ：
妻の作戦
娘たちの巨像の前ですぼむ肩
そして学部長への電話

退職後は
名誉教授の入らない名刺が入った名刺か…
途切れないこだわり
結局 名誉教授も小さく座っている
飾りは飾り
飾らない意気が消沈したのではないが
飾らないことで飾る自分にも
すこし飽きてきたか

たじろぐ

おとうさん
と孫娘が呼びかけてくる
おばあちゃん
はサーちゃん
おじいちゃん
はターちゃん
のはずだが
四歳は
おとうさん
と力強く呼ぶ

パパは
パパで
みんなが
ターちゃんを
おとうさん
と呼ぶからだ
という推理
でも
サーちゃんは
サーちゃん
家の中で
だったらまだいい
庭で
おとうさん！
おとうさんは
身の置き処がない
川畑さん
外で産ませた子を
引き取った
…かな？
…かな？
ご近所の耳が
そう聴いた
…かな？
それって
違いますから…
呼ばれるのも

なかなか慣れないが
つられて名乗るとき
おとうさんの口は
尻すぼみ

他ではない
言葉：

「おとうさん」
が四歳の中に産み出す
のかもしれない
たしかな口ざわり
と耳ざわり

そのまぶしさに
おとうさんは
いつも
たじろぐのだ

二度 たじろぐ

ねえねえ 何してるの？
何してるかわからないから
何かしてるもんだと思うから
幼な子は尋ねる

テレビを観てるの
ちよつと口ごもる
たしかに観てたけど
ホントに観てたんだろうか

なんで？

ときた

面白いから：

とってつけた釈明

アンタ 何してるのよ！

：息してる

反抗的な小学生の私は
案外 深かったのかもしれない

ねえねえ 何してるの？

ホラ またきた

答えにたじろぐ
ろぐるぐ